

## 『消化器外科専門医への minimal requirements』 正誤表

『消化器外科専門医への minimal requirements』（2014年7月10日 第1版第3刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
91	本文7行目	④接触阻止現象がなくなる（細胞間接着がなくても増殖する）	④接触阻止現象がなくなる（細胞間の接着があっても増殖する）
108	本文5行目	例えばFP療法では、5-FUを先行投与することにより、DNA修復酵素の生成を阻害し、CDDPのDNA合成阻害作用を強めると考えられている。この場合5-FUはmodulator、CDDPはeffectorである（low dose FP療法では5-FUはeffector、CDDPはmodulator）。	例えば、FP療法では5-FUがeffectorであり、CDDPがmodulatorである。
283	本文5行目	近位側縁が幽門から4cm以上離れているもの。	遠位側縁が幽門から4cm以上離れているもの。
380	正解	14：○	14：×
468	本文1行目	肝細胞癌に対する治療選択は癌の進行度と肝障害度に応じて決められる（図1）。	肝細胞癌に対する治療選択は癌の進行度と肝予備能に応じて決められる（図1）。
533	問題15	胆汁外瘻時では肝での凝固因子Ⅱ、Ⅵ、Ⅸ、ⅩなどのVit.K依存性因子の活性低下する。	胆汁外瘻時では肝での凝固因子Ⅱ、Ⅶ、Ⅸ、ⅩなどのVit.K依存性因子の活性を低下する。
535	本文8行目	③Vit.K欠乏症 ●肝での凝固因子Ⅱ、Ⅵ、Ⅸ、Ⅹ…	③Vit.K欠乏症 ●肝での凝固因子Ⅱ、Ⅶ、Ⅸ、Ⅹ…

## 『消化器外科専門医への minimal requirements』 正誤表2

『消化器外科専門医への minimal requirements』（2013年11月10日 第1版第2刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2014年1月16日 メジカルビュー社編集部)

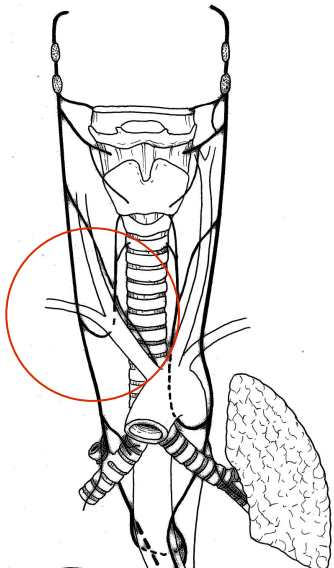
ページ	該当箇所	誤	正
11	正解	10 : x	10 : ○
20	問題 4	Oxypyperglycemia は…	Oxyhyperglycemia は…
21	本文下から 7行目	①好調な内容物の小腸流入に伴う…	① <b>高張</b> な内容物の小腸流入に伴う…
76	問題 9～12	<i>Vibrio unlnificus</i> …	<i>Vibrio vulnificus</i> …
77	見出し 3	<i>Vibrio unlnificus</i> 感染症	<i>Vibrio vulnificus</i> 感染症
78	Key Words 4つ目	, <i>Vibrio unlnificus</i> ,	, <i>Vibrio vulnificus</i> ,
87	正解	6 : x	6 : ○
158	正解	16 : ○	16 : x
205	問題 13	NAB (noctal gastric acid breakthrough)	NAB (nocturnal gastric acid breakthrough)
224	問題 8	粘膜筋板を超えなければ、食道癌はリンパ節…	粘膜筋板への <b>浸潤を伴わない</b> 食道癌のリンパ節…
225	正解	8 : x	8 : ○
257	問題 18	…Vit B12 経口投与が必須である。	…Vit B12 <b>経口</b> 投与が必須である。
258	正解	18 : x	18 : ○
259	本文 19行目	胃全摘後は、鉄剤投与、Vit B12 投与（内因子がないため経口投与は無効）が必要。	胃全摘後は、鉄剤投与、Vit B12 投与 <b>（内因子がないため経口投与は無効）</b> が必要。
290	問題 14	ToGA 試験では、シスプラチン+S-1 に…	ToGA 試験では、 <b>HER2 陽性胃癌に対し</b> シスプラチン+S-1 に…
297	問題 15	…手術や局所療法が適応である。	…手術や局所療法を <b>考慮する</b> 。
298	正解	15 : x	15 : ○
368	問題 1	…大腸内視鏡検査にて無数の腺腫性…	…大腸内視鏡検査にて <b>100 個</b> の腺腫性…
369	正解	1 : x	1 : ○
575	正解	13 : ○	13 : x

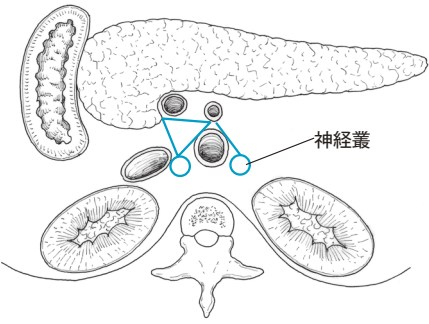
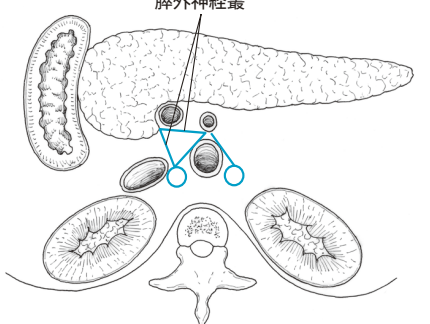
# 『消化器外科専門医への minimal requirements』 正誤表1

『消化器外科専門医への minimal requirements』（2013年10月10日 第1版第1刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

2013年11月1日

(メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
16	表1：中リスク 3行目	40歳未満の大手術	40歳以上、あるいは危険因子がある大手術
31	正解	10：×	10：○
44	問題5	腹部外傷における消化肝損傷は…	腹部外傷における消化管損傷は…
107	正解	7：○ 10：○	7：× 10：×
108	本文6行目	…CDDPはeffectorである。	…CDDPはeffectorである (low dose FP療法では5-FUはeffector, CDDPはmodulator)。
117	本文6行目	転移性大腸癌の一次治療としてのFLFOX…	転移性大腸癌の一次治療としてのFLOX…
119	1. Tリンパ球 1行目	(p142 図1)	(p120 図1)
138	2. 中心静脈栄養 7行目	脂肪乳剤は、0.1g/kg/日が適当量である。	脂肪乳剤は、0.1g/kg/時以下の速度で投与する。
176	図3 食道の神経		左反回神経の走行 
204	表2タイトル 図2タイトル	図2 横隔膜ヘルニアの発生部位 図2 横隔膜ヘルニアの疾患と特徴	表2 横隔膜ヘルニアの疾患と特徴 図2 横隔膜ヘルニアの発生部位
230	図1 頸部・縦隔・腹部のリンパ節分類		群分類が胸部中部の分類なので、群分類・矢印を削除
237	本文2行目	早期食道癌は、腫瘍が粘膜下層にとどまり、リンパ節転移のないもの。	早期食道癌は、腫瘍が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない。
242	1行目	きわめてよく相関する (図3)	きわめてよく相関する (図4)
243	見出し3	放射線・化学療法について (図4)	放射線・化学療法について (図5)
254	本文下から9行目	T4a (SS) と T4b (SE) に細分された…	T4a (SE) と T4b (SI) に細分された…
256	本文下から4行目	再手術は1.9%、在院死亡率は0.8%に行われていた。	再手術率は1.9%、在院死亡率は0.8%である。
280	合格へのチェック4	リンパ節転移のない早期胃癌は、潰瘍瘢痕のない2cm以下の分化型粘膜内癌 (T1a) であり、…	リンパ節転移のない早期胃癌は、潰瘍瘢痕のない2cm以下の分化型粘膜内癌 (T1a) は、…

285	2. 進行胃癌に対する治療のポイントの右	(*……については、p●主題6を参照)	(*……については、p.290 主題6を参照)
298	正解	6:○ 9:×	6:×
309	本文5行目	①輸入脚の内圧が上昇⇒胆汁と膵液を(胆汁が混じたもの)を嘔吐…	①輸入脚の内圧が上昇⇒胆汁と膵液を(急性輸入脚症候群では無胆汁, 慢性輸入脚症候群では胆汁混入)を嘔吐…
318	合格へのチェック12	中結腸静脈	中直腸静脈
366	5. 側方郭清とは1行目 3行目	…閉鎖リンパ節(No.282), 内腸骨リンパ節(No.272), 中直腸根リンパ節(No.262)を郭清する手技。 …②深達度がA1以深…	…閉鎖リンパ節(No.283), 内腸骨リンパ節(No.263), <del>中直腸根リンパ節(No.262)</del> を郭清する手技。 …②深達度がA1以深…
425	本文下から2行目	門脈臍部と右肝静脈と…	門脈臍部と左肝静脈と…
468	表1 Child-Pugh分類		プロトロンビン時間延長(%)を追加 1点            2点            3点 80<            50~80            <50
476	正解	2:×	2:○
482	合格へのチェック16	POCSL	PTCSL
515	胆道癌, 膵癌の危険因子はどのようなものか? 7つめおよび表1	③嗜好: 禁煙	③嗜好: 喫煙
537	本文下から3行目	副膵管は総胆管の背側を走行する。	副膵管は総胆管の腹側を走行する。
560	合格へのチェック3	…拡張は認めない。	…交通は認めない。
567	本文1行目	他臓器は, 下大静脈, 腎, 腎静脈, 副腎, 胃, 大腸, 脾臓であり, 下大動脈に注意。	膵癌の他臓器浸潤には, 大腸, 腎, 副腎, 胃, 脾臓への浸潤があげられる。
567	図3 膵後面の神経叢		
567	図4タイトル	中部胆管のリンパ節	膵臓に関連したリンパ節番号
570	問題8	…, BCS (best care support) よりも	…, BSC (best supportive care) よりも